

## 草津・毒水沢

平成24年9月22日(土)

L・記録 白土 久美子、白土 悟

温泉好きな人は多いだろう。しかし一括りに温泉といってもいろいろで、秘湯よりさらにマイナーなジャンルとして原野に湧く「野湯」がある。野湯を好む温泉マニアは地形図の山奥に温泉マークを見つけては湧き出でる温泉目当てに道無き道をゆくらしい。私たち夫婦もかねてより秘湯や天然温泉が好きだったが、だんだん旅館など無いマニアックな野湯に惹かれるようになった。まあ野湯好みとしてはビギナーなのだけど、今年はネットで見つけた草津白根山麓の毒水沢へ出かけた。

金曜日の夜中道の駅草津運動茶屋公園に到着すると、車中泊の車で賑わっていた。そろそろ寒くなる頃だろうとシュラフを持って行ったけど、思いのほか冷え込まず、暑くて途中でシュラフから出た。

朝5時に起き、白根山のレストハウスに車を停めて登山道を下る。途中で小雨が降ってきた。2時間ほどで毒水沢にかかる木橋に到着しここで沢靴に履き替えた。遡行はここから上流に向かうのだけど、下部にすごいゴルジュがあるようなので、行けるところまで行ってみることにした。河原を少し歩くとだんだん勾配が急になり、両岸とも壁に囲まれ、小さな釜付のスライダー状の滝が出てきた。近くに湯気が上がっている。釜はエメラルド色で、硫黄特有の雰囲気。さらに下るとトイ状の滝が続いていた。水流による浸食で出来たのだろう、ヨーロッパの古城の塔みたいな、狭くて急な

ゴルジュだった。ゴルジュは全体的に茶色くてアントワープみたいだ。すごい景観なのに簡単に巻いて下れるし、嫌らしいところはトラロープが付いているので気軽に行ける。左から枝沢が合流した出合で出来心で本流の水を舐めてみたら、「すっぱい」「しょっぱい」「苦い」を足して3で割ったような味で、とても飲めたものではない。確かに「毒水だ・・・。」こんな水、飲んだことない。(枝沢の水は普通だった。) さらに下り、つるつるの滝を上から眺めたが、ここを下りたら登り返しできそうもないので引き返した。(この更に下には落差70mの常布の滝がある。) 帰りは滝を直登。ホールドが適度にあり、水はゆるいのでずぶ濡れになってシャワークライミングを楽しんだ。



【下部ゴルジュ】

木橋まで戻り、一息ついてからいよいよ遡行開始。立入禁止のロープが付いているが、いつものとおり自己責任で沢へ侵入。

初めはただのつまらない小川だったけど、しばらくでナメとなり視界が開け、遠くに滝が見える。スライダー状の小滝を過ぎ、さっき下から見えた10m滝に到着した。左壁が発達し、この溪相にしてはダイナミック。登れないので右から巻いた。巻き道はとてもはっきりしていて、相当温泉マニアが来ているなという印象。巻き終わるとまた滝。3段10mくらいか。水はぬるい。難なく越えるとエメラルドの釜を持った8m滝が登場。右に緑色の染み出しがあり、近づいてみると洞穴からガスが出ていて暖かい。ネットに「天然サウナ」と出ていたところだ。誰かがデポしたのか、未開封の魚肉ソーセージが洞穴に落ちていた。滝には水流が削ってできたミニ釜もあちこちにあり、火山らしい珍しい景色だ。滝はよくフリクションが効き、ホールド・スタンスとも豊富なのでロープを出すことなくどんどん登れるので初心者も楽しめそう。しばらくでまた噴出ポイントを発見。ペンキで4と書かれている。源泉自体は45度くらいだけど湯量が少ない。湯溜まりに座って尻湯を楽しむ。この先も噴出ポイントはおくつかあったけど入浴できるようなところはなかなかない。ネットには沢の上部にあるとのことだったけどまだ？埋まってしまう通り過ぎたのではと心配になってくる。

ミニ釜と小滝が連続し、やがて二俣になり水量も減ってきた。それまで冷たくないからと調子に乗って釜で遊んでいた私はここにきて疲れが出てきて、濡れた体が冷えて寒い。もたもたと進んでいくと、気のせいかなだんだん足元が暖かくなってきた。先を歩いていた夫が突然ザックを下ろした。1mくらいの滝があり、その釜が深いので

入浴できそうだった。4~5人は入れる位広い。「きっとここだね。」持ってきたスコップで溜まった砂を掻き出し、しゃがめば首まで浸かれる深さになった。



【天然露天風呂】

明るい源頭に位置するのでとても開放的で、下に広がる景色も素晴らしかった。お湯が流れる滝の真下で打たせ湯もできる。



【打たせ湯】

湯は38度くらいとぬるかったのでしばらく浸かっていたら、手の平や足の裏が強烈

にふやけて、強酸性（pH1.1らしい）だからか髪の毛もばりばりで歌舞伎役者みたいになってしまった。秋田の玉川温泉が強酸性で有名だけど、ここの湯は玉川温泉よりもpHが低いらしい。パイルも少し錆びた・・・。

温泉を堪能した後、平らな源頭を歩いていると、近くを登山者が歩いていた。不思議そうな目でこっちを見ている。2mくらいの粘土質の壁を登ると登山道に出、30分くらいで駐車場に戻った。せっかくなので白根山の湯釜も見学した。向こうには万座のホテルが見え、今年はスキーにも挑戦してみたいと思った。

湯船は駐車場から遠くないので、場所さえ知っていれば気軽に入浴できそう。特に難しいところもなく、半日で終わってしまったけど、二人とも異常なまでに疲労感を覚えたので、強烈な泉質による湯当りだろうということになった。たまには原野の温泉を探してゆっくり遊ぶのも楽しい。次はどんな温泉を見つけられるだろうか。

6：00 白根レストハウス

8：00 毒水橋

9：00 遡行開始

11：00～12：30 大休止

13：00 白根レストハウス